



組合員と共に…

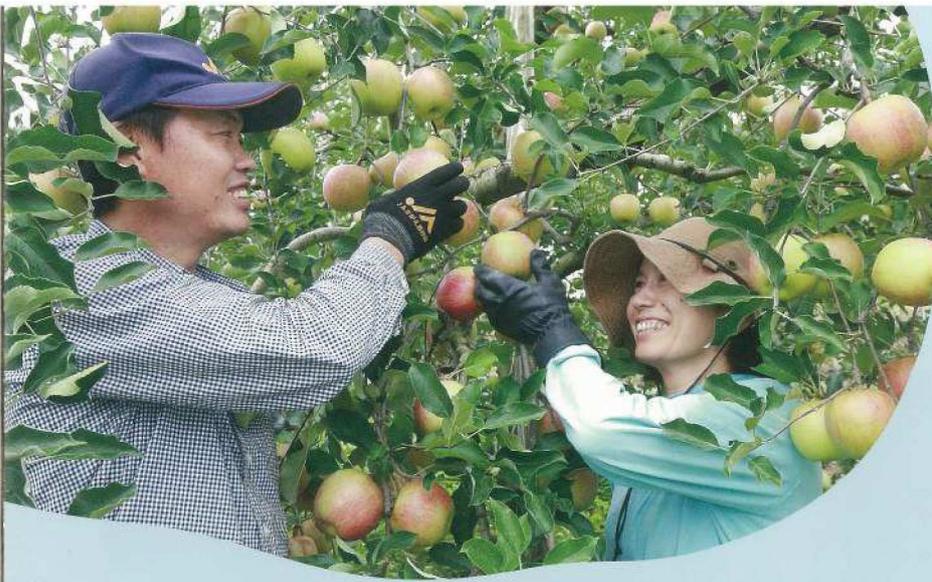


地域に寄り添うJAをめざして



JAさがえ西村山





組合員とともに描く 「地域社会、農業の未来」の実現のために！

担い手不足や耕作放棄地など、日本の農業は年々厳しさを増しています。

また生活環境の変化や世代交代により、地域社会や農業は多様化が進んでいます。

組合員の多様な願いを実現するため、

地域社会や農業の実態に応じた創意工夫と、積極的な事業・組織活動を展開し、

組合員や地域から「必要とされる存在」であり続けるJAをめざしてまいります。





スローガン

大地の恵みと協同の力
みらいを拓く農業創生



基本理念

自然の恵みと人のつながりを育み
農とくらしの新たな創造により
豊かで心かよう地域づくりを
めざします

3つの誓い

- 1 多様な販売による、持続可能なもうかる農業の実践(農家所得の増大・農業生産の拡大)
- 2 総合機能発揮と協同の力による、豊かな地域社会の実現(地域の活性化)
- 3 JAと組合員・利用者がともに歩むメンバーシップ構築の実現(組合員・地域との「絆」)



1

JAさがえ西村山の「農業者の所得増大」「農業生産拡大」への挑戦



「さがえ西村山まるごと販売」による重点市場への集中販売や、1市4町の合同トップセールスによる「トップブランドづくり」に取り組んでいます。



主要作物の広域産地形成を図り、地域農業の振興を進めています。



広域農業活性化センターと連携し、法人化支援や地域担い手確保対策に取り組んでいます。



技術指導や病害虫防除情報の提供を充実させて、営農指導と担い手支援の強化を進めています。



「食と農の交流会」や「安全安心現地交流会」を開催し、生産者と消費者の交流拡大に取り組んでいます。



「ごはんちゃん贈呈」「つるり芋図画コンテスト」などを行い、地元小学生の食農教育に取り組んでいます。

JAさがえ西村山は、後継者や担い手ニーズに応えながら、マーケットインに基づく生産・販売などで、持続可能なもうかる農業の実践に取り組んでいます。



アグリランド産直センター、ひな産直センターの集客力をアップし、生産者と消費者がつながる魅力ある直売所づくりに取り組んでいます。



JA青年部、JA女性部の組織の強化を進めています。



農業・肥料など必要な資材について、近隣店舗の価格調査を行い価格対応しています。



農機のレンタル事業を充実させて、高齢者や新規就農者の需要に応えています。



「担い手推進課」を設置し、担い手農家への訪問活動を強化しています。



低利な農業関連資金の提供で、組合員の営農とくらしをサポートしています。

2

JAさがえ西村山の「JA総合事業機能の発揮による地域活性化」への貢献



支所ごとの「組合員まつり」の開催を通じて、地域の活性化に貢献しています。



JA共済の地域貢献活動として、カーブミラーの贈呈や「アンパンマン交通安全キャラバン」などを開催しています。



JAさがえ西村山は、JAの総合機能発揮と協同の力により、地域を活性化し豊かな地域社会の実現に取り組んでいます。



セレモニーホール「JAやすらぎ」[JAやすらぎ河北]の葬祭事業を充実させて、故人を偲び安らかな旅立ちのお手伝いをしています。



「年金友の会」活動を充実させて、地域の活性化へ貢献しています。



JA健康福祉センター「恩(めぐみ)」の介護福祉事業を充実させて、組合員への心こもった介護を提供しています。



3 JAさがえ西村山の「JAと組合員・利用者が共に歩むメンバーシップ構築」の実現

JAさがえ西村山は、組合員の要望に基づいたJA運営を徹底し、正組合員・准組合員・地域とのメンバーシップ構築による「絆（きずな）」の強化に取り組んでいます。



地域ごとのさまざまな催事・イベント等に積極的に参画し、組合員や利用者のメンバーシップ構築と地域の活性化に貢献しています。

地域コミュニケーション活動として、全支所で「支所だより」を発行。地域コミュニティの活性化や「食」「農」「協同組合」への理解向上などに取り組んでいます。



今後も継続して取り組むべき課題…

- 地域農業の振興に向けて「担い手の育成強化」と「トップブランドの産地形成」を進めます。
- 「農家に出向く体制の強化」と「生産資材の低コスト供給」を図ります。
- 産直機能を充実させて「農家所得のさらなる増大」を図ります。
- 「活気あふれるJAの店舗づくり」と「農業メインバンクの機能を強化」します。
- 顧客ニーズに対応した「相談機能の拡充」を図ります。
- 総合事業機能を発揮し「組合員・利用者とのメンバーシップ構築」をすすめます。

message

地域に寄り添うJAでありたい これまで、これからも...

JAはもともと「相互扶助(互いに助け合うこと)」の精神のもと、
農家が集まり、お金を出し合って作られた団体です。

しかし、いまやJAは農家のためだけでなく、
地域内外の消費者のみなさまに「安全・安心な食料を供給する」という
重要な役割も担っています。

人々の「食」を支えるため、台風などの自然災害にも負けることができません。
JAは農家と手を携え、できる限り安定的に野菜やお米、果物などを供給し続けています。

JAは農家の生活をトータルサポートするため
「貯金」「融資」「共済」「訪問介護」「葬祭」などさまざまなサービスを提供していますが、
そのサービスは農家だけでなく、地域のみなさまにもご利用いただけます。

たくさんの方々にご利用いただくことでサービスの質を高めることができ、
JAは安定した経営を行なうことができます。
安定した経営を行うことは、「食」を支える農家をサポートする上で、大変重要なことです。
つまり、多くのみなさまにJAをご利用いただくことが、
間接的に地域の「食」を支える農家を応援していることになるといえるでしょう。

生きていくうえで、とても大切な「食」を支えている「農家」を支えたい。
農家を応援してくれる、地域の人々の暮らしのお役に立ちたい。

私たちJAは、相互扶助の精神のもとで、みなさまと寄り添って、ともに歩んでいきたい。
そう思い考えながら、日々活動を行っています。



JAさがえ西村山

〒991-0061 山形県寒河江市中央工業団地75
TEL.0237-86-8181 (代) FAX.0237-86-0633
<http://www.ic-net.or.jp/home/jasagae/>

～世界の協同組合の合言葉～ 『一人はみんなのために、みんなは一人のために』